IPトランシーバ　JRT-912
IP Transceiver　JRT-912

1．概要

JRT-912は，無線伝送方式に無線LANを利用した画期的なトランシーバである。JRT-912は，IPネットワーク上に接続された音声制御サーバと無線LANアクセスポイントを使用して一斉通話が可能な次世代型システムである。

2．特長

(1)　無線免許不要
　無線LANを使用しているので無線免許不要で誰でも使用可能である。

(2)　一斉通話とグループ通話
　音声制御サーバに接続した全てのJRT-912間での一斉通話と，最大５グループでの個別グループ内通話が可能である。

(3)　容易に通話エリアの拡張が可能
　IPプロトコルを使用し，インターネットやイントラネットにシームレスに接続することができ，容易に通話エリアの拡張が可能である。

(4)　高音質な単信，同時通話
　音声コーデックにG.711を使用しているので高音質である。プレストーク方式の単信通話とハンズフリーの同時通話が可能である。

(5)　一斉呼出
　呼出ボタンを押すだけで，バイブレーションとブザーによる一斉呼出，個別グループ呼出しが可能である。

(6)　ローミング
　同一セグメント上で複数の無線LANアクセスポイント間のローミングが可能である。

(7)　簡易的な位置検出
　JRT-912が接続された無線LANアクセスポイントを音声制御サーバに通知することにより，簡易的な位置の検出が可能である。

(8)　受信信号強度のレベル表示
　JRT-912は無線LANアクセスポイントからの受信信号の強さを０～５段階の表示を行うことが可能である。（RSSI測定モード時のみ）

3．仕様

電源	単三形ニッケル水素充電池 ３本使用　（DC1.2V×３本）
連続使用時間	約８時間 （送信１：受信１：待受８の割合）
環境条件	温度：0～50℃，湿度： 90％以下 （結露なきこと）

IPトランシーバ　JRT-912
IP Transceiver JRT-912

外形寸法	約58(W)x126(H)x24.5(D)mm （突起部およびアンテナを含まず）
質量	約205g （アンテナおよび電池を含む）
無線通信規格	IEEE802.11a/b/g準拠
無線LAN周波数帯	2.4GHz 帯 2412～2472MHz 5MHz 間隔13 波 (ARIB STD-T66) 5.2GHz 帯(W52,W53) 5180，5200，5220，5240，5260， 5280，5300，5320 MHz　8 波 (ARIB STD-T71)
送信出力	2.4GHz 帯 2mW/MHz +20%，-80% 5.2GHz 帯 2mW/MHz +20%，-80%
暗号化方式	WEP暗号化（40/108/128bit鍵RC4）
プロトコル	IPv4, TCP, UDP, RTP
LAN通信速度	１台あたり70kbps～90kbps
音声符号形式	G.711 μ-law（64kbps）
最大接続台数	20台
グループ通話	一斉通話および個別グループ 最大５
添付品	ニッケル水素充電池 音声制御サーバソフト (WindowsXP，Vista，2003Server用)

お問合せ先　ソリューション事業本部
民需ソリューションプロジェクト
電話 0422-45-9336